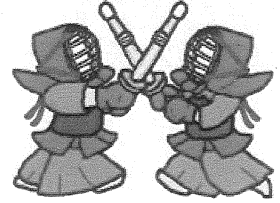


あまけんれん

平成26年7月発行

文責：泉 眞喜夫



天草剣道連盟会長二期目を受けて 福本康博

去る5月11日の総会で会長の大役を仰せつかり、身の引き締まる思いで両肩がずっしり重く感じられます。天草は大変広く、会員が一堂に会しての稽古は大変困難で、一人ひとりが自分で時間を見つけて稽古に励む以外にありません。剣道を志す者にとって大切なことは、剣道で学んだ業を一般社会で生かし実践していくことだと思います。現在、天草には七段取得者が16名います。「天草から八段を」が会長としての夢であり、必ず実現して欲しいものです。天草剣道連盟の発展は、各支部の常任理事・理事を中心に会員一人ひとりの剣道に対する意識・情熱にかかっており、支部の活性化こそが第一だと考えます。よろしく願いいたします。



事務局長交代に当たって 杉本重朗→岡田康二

事務局長交代にあたり、一言ご挨拶申し上げます。何かとご迷惑をおかけしながらも、どうか1期2年の務めを全うできましたことは、偏に会員の皆様のご協力の賜と心より感謝いたしますと共に厚くお礼を申し上げます。また、新事務局スタッフに対してもこれまで以上のご支援、ご協力をお願いいたします。最後になりましたが、天草剣道連盟の今後の益々の発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたします。(杉本重朗)

今回の事務局長交代に当たっては、会長より打診があり、大変戸惑い、一度はお断りいたしました。「誰でも出来る会長、事務局、会計、そんな連盟を目指そう」とかねてから会長が言われていた言葉を思い起こし、会員の一人として、連盟の事業・運営が一層円滑に行える役割の一端を担うことが出来れば考え、お引き受けすることにしました。事務局体制として、引き続き、連絡事務手続きを新和支部の富田先生、新たに牛深支部の濱崎、見分を加え、会計を平山さんに担当していただき、連携を密にして頑張っていきたいと思っています。しかしながら、私の仕事は年中無休の個人商店ですので、天草剣道連盟の事業や大会の全てに参加することは出来そうにもありませんが、会員みなさんのご理解とご協力をいただきながら、任期を全うできればと思っています。(岡田康二)

祝 七段合格！ 寺田 到（五和） 緒方勇人（栖本） ※敬称略

5月に名古屋で行われました全日本剣道連盟の昇段審査において、本剣道連盟から上記の2名の方が見事七段に合格されました。それぞれの思いを語っていただきましたので紹介いたします。「今回、名古屋において七段審査に合格することが出来ました。これも、ひとえに諸先生方の指導のおかげと心より御礼申し上げます。

審査立ち会いにおいて、限られた時間内に、自分が思っている剣道がいかにか出来るか、心がけたことが3点ほどあります。

- 1 初太刀をどうするか（面）
- 2 相手が出たら打つ、動いたら打つの気持ち
- 3 審査の先生方に尻を見せない位置取り

以上の3点に気を付けて立ち会いに臨みました。

これからも、懸かる気持ちを忘れずに先生方に打たれながら稽古を積んで参りたいと思いますのでご指導をよろしくお願いいたします。(寺田 到)

この度、5月に名古屋で行われた七段審査において合格することが出来ました。七段審査を受け始めて3年半での合格でした。これも、西山先生を始め、先生方に稽古をつけていただいたおかげであると感謝しています。

これまでの審査では、(打たなければ)という意識が遠間から焦って打ったり、間合いに入って居ついたら打たれていました。今回の審査前の稽古では、相手に気持ちで負けないこと、力を抜くこと、下がらないこと、に気をつけて稽古しました。審査では、力が抜け、自然体で出来たのが良かったと思います。発表の時は、喜びよりも(信じられない)という気持ちでした。

今後は、七段に恥じないよう稽古に精進していきたいと思っております。(緒方勇人)

この度の2名の合格により、天草剣道連盟の七段取得者は16名となりました。今後、七段の座に甘んじることなく、お互いに切磋琢磨して、更に上の段に向かって稽古に励むと共に、更に多くの会員が昇段できますように元立ちとなって引き立て稽古をよろしくお願いいたします。

